

2005年8月17日

疼痛治療講演会
(Learning Advancement Program: 略称 LAP)
全国展開開始

未だ除痛率の低い日本のがん性疼痛治療の向上を図る
日本の疼痛治療において初の統一スライド使用による情報提供プログラム

第1回 東京 LAP

2005年9月18日(日) 15:00~17:00 京王プラザホテルにて

がん性疼痛治療に関する正しい知識の理解と普及のために、医療従事者がそれぞれの立場を超えて集まり設立した啓発活動組織、「ジャパン・パートナーズ・アゲインスト・ペイン(Japan Partners Against Pain: 略称 JPAP™ 代表世話人: JR 東京総合病院院長 花岡 一雄)は、来たる2005年9月18日(日)、京王プラザホテルにおいて、東京都内の医師、看護師、薬剤師を対象に、適正な疼痛治療の情報提供プログラム「第1回疼痛治療講演会(Learning Advancement Program: 略称 LAP)」を開催します。

今回の開催を機に、同 LAP を全国で開催する予定です。まず2005年の間には東京以外に、10月8日(土)に札幌、11月5日(土)に大阪での開催が決まっております。

また、2006年には名古屋、仙台、広島、福岡での開催を現在予定しており、他にも乳がん、膵がん等、がん種別による LAP 開催も検討しております。

■LAPとは

LAPとは全国の疼痛治療を向上させ、全ての患者さんが痛みから解放されることを目的とし、医療従事者に向けて適正かつ均一な疼痛治療の情報伝達と普及をするために開発された、講演会形式の情報提供プログラムです。

演者は JPAP™ 監修によるスライドキットを用いて講演を行いますので、どの講演会の参加者も一貫した情報を共有することが出来ます。そしてその情報を、参加者以外の医療従事者に伝達するためのバックアップも含めたプログラムです。

こうした LAP のような試みは、日本の疼痛治療においては初めてのものです。JPAP™ では本 LAP により、残念ながら未だ除痛率の低い日本のがん性疼痛治療の向上を図ります。

■LAP 計画の理由

日本では毎年約 100 万人の方が亡くなりますが、そのうちの 3 分の 1 はがんによるものです。そしてがん患者さんのうち約 70%の方に痛みが出てまいります。残念ながら日本では、全ての医療従事者の間で適正な疼痛治療の知識や方法が共有されてはおらず、また、疼痛治療教育も整備されているとは言い難いのが現状です。そのため未だ痛みを苦しむがん患者さんが多数存在しています。

そこで JPAP™ ではこの現状を変えるために本 LAP を計画いたしました。

■どのように情報を伝達していくか

まず疼痛治療の第一人者であり JPAP™ 役員である先生方のご指導の下、統一見解・共通認識としてのテキスト「講演用スライド・レクチャー・キット」を制作致しました。そのスライドキットを用いて、全国各地域で疼痛治療分野における中心的存在の先生による講演会を開催していきます。そして LAP へ参加した医療従事者には、院内や各地域の勉強会の資料として使用できるよう「講演用スライド・レクチャー・キット(解説書付き)」をお渡しいたします。このスライドキットには講演会で用いたスライドの他、勉強会の基本となるスライドが含まれています。

このように同一の内容・資料を用いて、適正かつ均一な情報を全国に伝達させることで、地域間、施設間、医療従事者間の格差の是正と知識の向上を図ります。それによって、日本中どこでも患者さんが最適な疼痛治療を受けられることを目指します。

今回は日本大学医学部麻酔科学教室助教授で、JPAP™ の幹事も努めている佐伯 茂先生に講演をして頂き、100 名ほどの医療従事者の方にお集まりいただく予定です。

LAP 概要は、下記の通りです。

第 1 回疼痛治療講演会(東京 LAP) 開催概要

開催日 2005 年 9 月 18 日(日曜日)※終了しました

時 間 15:00～16:10 / 講演会
16:10～17:00 / 質疑応答・意見交換会

会 場 京王プラザホテル 5 階 コンコード
東京都新宿区西新宿 2-2-1 TEL:03-3344-0111(大代表)

式次第

座長: 日本大学医学部麻酔科学教室 教授 小川 節郎 先生
(JPAP™ 副代表世話人)

15:00 開催のご挨拶 JR 東京総合病院 院長
花岡 一雄 先生 (JPAP™ 代表世話人)

15:10 講演会 日本大学医学部麻酔科学教室 助教授
佐伯 茂 先生 (JPAP™ 幹事)

16:10 質疑応答/意見交換会

17:00 終了